

コースコード：RH-DO374

税込価格：264,000円 (税抜価格：240,000円)

日数：5日間

前提条件

・ Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294) ・ Red Hat Enterprise Linux 8 で Red Hat 認定エンジニア (RHCE®) を取得済み、または同等の Ansible の使用経験を有する ・ 無料のスキルチェック (<https://rhtapps.redhat.com/assessment/>)

でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。テクノロジー上の留意事項

・ BYOD/BYDW の対象ではありません。また、インターネット接続は必要ありません。(VT/ROLE の SSH アクセスを実装する場合は、インターネット接続が必要です。)

受講対象者

このコースは、以下のような自動化コンテンツの作成を担当するユーザーを対象としています。

- ・ 開発者
- ・ DevOps エンジニア
- ・ Linux システム管理者
- ・ Red Hat Ansible Automation Platform を使用して Linux 環境でアプリケーションおよびサービスの自動化、プロビジョニング、設定、デプロイを行うための基本的な専門知識を持つその他の IT プロフェッショナル

コース概要

Ansible のスキルを向上させ、Red Hat Ansible Automation Platform が提供するコンテナ重視の新しいツールを使用して推奨プラクティスを適用することで、スケーラブルな自動化を開発する

Developing Advanced Automation with Red Hat Ansible Automation Platform (DO374)

を受講すると、自動化コンテンツの開発者は、Red Hat® Ansible Automation Platform

が提供するコンテナ重視の新しいツールを活用して、Automation controller

で管理できる自動化を効率的に開発できるようになります。再利用可能なコード、高度な Playbook

のテクニック、共有実行環境を使用した自動化開発の推奨プラクティス、および Automation content navigator によるスケーラブルな自動化の準備について説明します。

このコースは Red Hat Ansible Automation Platform 2.0 に基づいています。

目的

このコースは、次のスキルを習得することを目的としています。

- ・ 再利用可能なコードを使用して、組織全体に自動化を分散する
- ・ コンテナ化された新しいアーキテクチャで、大規模なエンタープライズ環境向けのスケーラブルな自動化を簡単に作成する

Red Hat Ansible Automation Platform を使用して、大規模なチームや複雑なエンタープライズに拡張可能な方法で自動化を開発できるようになります。このコースでは、Playbook を効果的に管理および最適化し、実行環境とコレクションを作成して共有するスキルを習得し、Automation content navigator を使用して自動化のライフサイクルを管理する方法を学習します。

アウトライン



Ansible Automation Platform 2 による Playbook の開発

Red Hat Ansible Automation Platform 2 での推奨プラクティスに従って、Ansible Playbook を開発します。

Content Collections と実行環境の管理

ansible-core に含まれていない Content Collections を使用する Playbook を、既存の実行環境から、または Automation Hub からダウンロードして実行します。

Automation controller による Playbook の実行

Automation controller を使用して、Automation content navigator で開発した Playbook を実行します。

Ansible 構成設定の操作

実行環境内の Automation content navigator と Ansible ランナーの構成を調べて調整し、開発を単純化し、問題のトラブルシューティングを行います。

インベントリの管理

Ansible の高度な機能を使ってインベントリを管理します。

タスク実行の管理

Ansible Playbook によってタスクの実行を制御および最適化します。

フィルタとプラグインを使用したデータ変換

フィルタとプラグインを使用して、変数内のデータを追加、操作、および管理します。

ローリングアップデートの調整

Ansible の高度な機能を使用してローリングアップデートを管理することで、ダウンタイムを最小限に抑え、Ansible Playbook の保守性と簡潔さを確保します。

Content Collections と実行環境の作成

独自の Ansible Content Collections を記述して公開し、カスタムの実行環境に埋め込み、Automation controller を使用して Playbook で実行します。